



▲改修により使い易くなる中央公民館

公共施設の見直しは

答弁 = 改修にて機能を高める

①中央公民館は施設の老朽化が進み、バリアフリー面でも未整備となっている。これまで、住民による「中央公民館整備計画検討委員会」、職員による「行政の近代化調査研究班」、教育

答弁 清水町長

①文化ホールに関して、平成19年度には播磨北小学校の施設も活用できる環境となり、中央公民館の改修も含め文化交流施設はどのようになっているのか。
②負の遺産として町長自身が過去に称されてきました。朝来市の「はりまふれあいの家」の今後の見直しは。
③ウォーターフロント計画は海岸部の活性化と海のあるまちを実現するために必要な事業と位置づけられています。財政状況なども勘案しながら、今後どのように考えているのか。



住民クラブ

永谷 修

審議会からも施設の整備について多くの意見が出ており、改修により文化交流施設としての機能を高める。
②ふれあいの家は早急に結論を出すのではなく、指定管理者に管理を移管している中で、一層の利用者増を図る努力をし、状況を見守りながら検討していく。
③ウォーターフロント計画は計画策定から期間が経っており、住民ニーズ、財政状況、必要性や他の事業の進行状況などを考慮する中で方向性を考える。

行財政改革への考えは

①報酬の見直しについて、定期的なもの、どの職種で行うのか、そのレベルは如何ほどのものなのか、そして財政貢献はトータルでどの程度を考えているのか。
②人材育成に関して外部交流と提案制度を推進とある

答弁 清水町長
調査結果の判断で給付

が、具体的にどのようなことを考えているのか。希望降任で過剰降格は人材育成・組織運営上、大きな問題があるのでは、その意図は。

①報酬見直しは、来年4月から実施したい。範囲は町長、助役、収入役、教育長で、金額は現行の94%をさらに減額する予定であるが、具体的な金額は今後検討。
②人材育成に関しては、先進地の施策を調査研究し、本町に適した施策について積極的に取り入れていく。
希望降任については、本人を説得し2週間待ったが今回の処置とした。
降格は本人の希望によって人事をしたまでです。弁護士から照会書が出ており詳細答弁は差し控えたい。



▲賛否両論、行政課題として最も注目の学校

北小統廃合の進行は万全か

答弁 = 12月の答弁どおり万全です

町長の所信表明、町長選及び町長の議員活動時での言動などを踏まえ、今後における施策につき、その考え方を質問します。
学校の統廃合には、メリット、デメリットがあり、考え方にも賛否両論がありました。北小の統廃合は決定されました。
今後は児童への指導、保護者や地域などへの説明など、むしろこれからがなお一層重要な時期であるという観点から、昨年の12月の定例議会で質問しました。
受入先の体制、児童の不安解消、施設整備、学童保育対策は。
統廃合後の一層の教育効果の向上、保護者の経済的負担対策、心理的側面への配慮などでしたが、これらにつき、その後の進行状況は万全ですか。



住民クラブ

浅原 利一

まさか再検討するとかで、保護者に動揺をきたすような事はないでしょうか。

答弁 小西教育総務統括

播磨北小学校廃止決定に伴い取組むべき主な施策の概略については、昨年12月の議会定例会でお答えしています。

そのことについて具体的に申し上げますと、まず受け入れ先の体制は、児童の不安解消策として、本年3月に北小の先生を対象に他市町で統廃合を経験された先生に来て頂き、一年間の過ごし方、子どもへの接し方の研修を実施、2学期には、受け入れ校の先生方と北小児童及びPTAの交流も計画しています。
また、すでに蓮池小学校にスクールカウンセラーを

配置しておりますが、さらに、心理的ケアに対応するための加配教員を県に要請したいと考えています。
学童保育対策については、学童保育連絡協議会と協議中です。

ただ、施設整備として、普通教室の復元工事を夏休み中に実施する予定にしていますが、応札者がなく進行していません。再度入札する予定です。
保護者の経済的負担の軽減策については、現在協議中ですが、今後も引き続き移行がスムーズに行くよう関係者と協議をしていきたいと考えています。
上記以外に、化学工場跡地、使用料・手数料見直し、公債費・公用車などについてもただした。